
とある魔術の二面性

狂朔

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

とある魔術の二面性

【Nコード】

N 8 1 4 3 P

【作者名】

狂朔

【あらすじ】

自分の中にもう一人の自分の持つ氷乃城零とその幼なじみの渚風香のドタバタバトルストーリー

プロローグ（前書き）

どうも、狂朔です。

今回初めて執筆しますので誤字脱字等があると思いますが、どうか
温かい目で読んでもらえれば、幸いです

ブローグ

「テスト合計何点だった？」

「満点」

「また負けた・・・」

「風香は、どうだったんだ？」

「・・・498点」

そう、俺はこの幼なじみの少女、渚風香に勝負事で負けたことは無かった・・・あの1回を除いては・・・

「まあ、別にいいだろ、お前は学園都市最強のLv・5の一人なんだから」

「うう、それとこれは別だよ、」

その1回とは、2年前、初めて学園都市に来て、能力開発を受けた時、風香は学園都市最強のLv・5、方や俺はLv・4、これが俺が初めて風香に負けた時だった

「それもそうだな。じゃあ約束通り何か奢って貰うか」

「・・・あんまり高いのはやめてね」

「じゃあ、風香がこの前行ったクレープ屋のクレープな」

「この前話した常盤台の子達と行ったクレープ屋さん？あれでいいの？」

「ああ、十分だ。それに、風香が言った、その子達にも会えるかもしれないしな」

「・・・そっか、よし！行く、零」

「因みに俺は2人分な」

「えっ、なん・・・あ、そうだったね、零ちゃんの分か」

「ああ」

登場人物

氷乃城 零 ひのしろ れい

L V ・ 4 アイス・エイジ 絶対零度

紫の髪と目を持つ少年

性格はクール

自分の中にもう一人の自分がいる

幼なじみの風香に危害を加えられたら、本来以上の力を発揮する

火乃城 零 ひのしろ れい

L V ・ 4 メルトオーバー 過剰溶解

零の中にいる少女の人格

性格は快活でおしゃべり

渚風香 なぎさ ふうか

L V ・ 5 第8位 ゴット・エッジ 神風斬刃

緑の髪と目を持つ少女

性格は天真爛漫

零に密かに恋心を抱いている

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、たんのう堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n8143p/>

とある魔術の二面性

2011年1月3日20時21分発行